

令和6年市長と語る！ふれあいミーティング

会場：双柳地区行政センター

日時：令和6年5月15日（水）午後7時～

《会場での主なご意見等》

【ご意見①】

耕作放棄地が市内にたくさんあり、その土地を有効活用したい若者がいて、農業振興課へ相談しているが、なかなか話がまとまらない。農地法などの制約があるだろうが、近隣の日高市、入間市、狭山市や友好都市高萩市等も耕作放棄地が問題になっていることと思うので、それらの情報も踏まえて、どうすればできるかという提案を是非お願いしたい。

【回答】

確かに市内を見ても耕作放棄地が目立ち、市も常々対応を考えております。しかし、農地法はかなり厳しく、何か大きなプロジェクトですとか、そういったものがあれば相談にも対応いただけたと思いますが、今の段階で、具体的な話がない中で相談に行っても、なかなか良い答えを出していただけないのが実態でございます。一歩前へ出られないのが実情です。この件につきましては、引き続き取り組んでまいりますのでご理解をいただきたいと思っております。

【ご意見②】

現在、双柳小学校の学童は2学童あり、合計で127名、54名と73名の2つの学童がある。この2つの学童は5年前に分割されて2つになったが現在、1つの学童が73名と規模が大きくなり過ぎている。もう1つ学童を増やしていただき、3学童にしていきたい。

現状では70数名の児童が一つのところに集り、賑やか過ぎるところの話ではなく、静かに勉強したい子もいるが、收拾がつかない状態になっている。なかなか新しく建物を建てるということは難しい状況である。双柳小学校の空き教室を使用できないかという話も出たが、空き教室もない状況。そこで選択肢が段々狭まってきている。

【回答】

双柳小学校だけでなく、児童クラブの不足の声は届いております。この場で新しくつくりますとは言えませんが、担当を交えて十分に検討させていただきます。

【ご意見③】

児童クラブについて、40名が適正人数なので、3つで適正となる。3つに分割された場合でも、指導員の人数は足りている。

飯能市は高学年でも児童クラブに入所できるので他市と比べると非常に有難い。毎日安心して働きにいける。本当に感謝している。ただ、高学年だから家でいられるかという、今、核家族が増えたり、共働き家庭が非常に多くなっている。自分の子どもの時とは違い、今の子どもたちはスマートフォンを親御さんから不安なので与えられて

いる。それは理解できるが、子どもだけで家にいるとスマートフォンでSNSをして過ごすことが多くなる。子どもの社会というのは、学校が終わった後の放課後というところでも色々な社会が生まれている。それがいじめに発展していったりと。

色々な方向性を考えても、私は通わせている立場から児童クラブは、非常に有難い存在。親からしてもやはり児童クラブは大事で、同じように子どもの成長としても、やはり児童クラブという場が非常に大事だということをお伝えしたい。

【回答】

ご意見ありがとうございます。貴重なご意見として承ります。

【ご意見④】

月1回、双柳地区行政センターで、子ども食堂ということで子どもたちから高齢者まで居場所づくりのためボランティア活動をしている団体がある。それに参加させてもらう時に、子どもを遊ばせる場所が非常に少なく苦労しているのをよく見かける。この地区に公園がないので地区行政センターで子ども食堂をやっているが、今の裏に公園予定地がある。大体公園というのは、区画整理事業が終わる、最後の最後に整備されると思っている。なかなか居場所づくりとしての活動が非常に苦しい状況がずっと続いている。是非、公園づくりをできるだけ早い機会にお願いしたい。

【回答】

公園用地的には空いているところがあったとしても、事業の途中で公園だけを先行して整備することはなかなか難しいところです。しかし、事業の中で公園用地が空いてくれば、そこを広場のような形で開放はできると思います。ただ、開放した時に、危険が伴うような場所ですと、これはまた違う角度から検討しなければいけないことになります。危険がないように、お子さんが親の目の届く範囲で遊んでいただける、そのような広場でしたらできないことはないと思います。しかし、いつまでにといいお約束はできませんが、空いてきた時に対応させていただければと思います。

【ご意見⑤】

自宅のすぐ隣、道路の向こうが入間市。そこに草木が生え、車が通れなくなっている。入間市役所に連絡したが、1回か2回来ていただいたきりそのままになっている。飯能市としてもしっかり対応してほしい。

また、樺本チエインから入って行った道先に、今まで通り抜けができたが、土地の所有者が変わり、ロープが張られ、緊急自動車も通れなくなった。通行できるようにしてほしい。

【回答】

現地を見てみませんと何とも申し上げられませんが、防災上、緊急自動車が入れない状態ですと、ちょっとよろしくないと思います。ただ、私有地ですと個人の権利もございますので現地を確認させてください。

【ご意見⑥】

昨年度は飯能市造血細胞移植後定期予防接種ワクチン再接種費用助成事業を実施し、今年度は带状疱疹予防接種費用助成事業を始めるということで大変ありがたい。高齢になると带状疱疹はかなりの重病になる。接種費用も高額で補助があると大変助かる補助金である。この補助金について広報はんのうに載せるだけでは多くの市民に伝わらないと思うので、もっとPRしてほしい。

【回答】

貴重なご意見、ありがとうございます。
市民の健康を守ることが我々の使命でございますので、只今のご意見、広く周知するように取り組んでいきたいと思っております。

【ご意見⑦】

福祉センターにて、ボランティアで外国人に日本語を教えている。日本文化の紹介で、お茶などを教えることがあるが、福祉センターの和室の畳が古く、センター建設時から交換されていないと聞いた。是非、畳を替えていただきたい。また、多目的トイレが故障しているのと、1階のエレベーターを囲んでいるレンガが剥がれ落ちてテープで止めている。危ないので、改善していただきたい。

【回答】

福祉センターは建設年次から相当経過しておりまして、傷んでいるところが目立ってきました。畳の関係ですが、担当と現地を確認をさせていただき、対応できるものは対応させていただきます。いずれにしても、予算がかかりますので、今年度直ぐにはいかないかもしれませんが、状況を確認したうえで予算要求をしっかりとさせていただきたいと考えております。また、緊急を要する場所があれば早急に対応する必要がありますと考えます。

【ご意見⑧】

阿須小久保線、岩沢陸橋のところ、市長の自宅の近くを通っているからお分りになることと思うが、陸橋の近くにT字路があり、あそこで行き止まりになるのか。行き止まりでなく真っ直ぐ行くのか。真っ直ぐ行かず行き止まりになるのなら、東側の駿河台大学とコンビニのところに信号があるが、何故あそこを通さなかったのか疑問がある。

【回答】

阿須小久保線の起点付近の話だと思います。昭和41年に阿須小久保線の都市計画決定をしている。その時に始点を県道富岡入間線のT字路、阿須の、その場所を起点として北へ向かって宮沢湖、防災センター付近までで都市計画決定をさせていただきます。富岡入間線から南を今お話されているかと思いますが、残念ながら、都市計画決定は起点を北側に向かって計画決定させていただきますので、あれから南については、全く計画はございません。都市計画決定は現在の形で計画決定されておりますので、計画決定に基づいた形で整備をまずは進めてまいりますので、ご理解いただければと思います。

【ご意見⑨】

市長から直にお話を聞いて良かった。初めて参加したが、とても勉強になった。
一点だけお願いがある。市へ何か申請をする際に、まだ手書きが必要なものが残っている。それが、例えば、ホームページにワードなりエクセルなりのデータがあれば、手書きをせずに入力で済む。また、それを印刷せずにメールで送れる処理ができればペーパーレスにもなる。市の方で処理する際には印刷が必要なケースが出てくるとは思うが、いずれそのことがクリアされれば、ペーパーレスも進んでいくと思う。手書きが大変というところも一番だが、可能な限り、恐らく、お金がかからずにできるのではないかと思う。

【回答】

一部電子申請の機能を組み込んだものもございます。先程おっしゃっていたワード等の書式を設けてあるものもございますが、まさにその通りでございます、それに向けて取り組んでいるところです。書かない窓口、行かない市役所、そういったことを研究、検討をしているところです。

【ご意見⑩】

大規模災害が起きた時、直後は市は対応できないので自治会で対応しないといけないと思っている。経験のない中で避難所を運営していくのは大変だと思う。
市の方から、初期の段階でも手を差し伸べていただくことはできないか。

また、防災上の観点から自治会に入っていない方へ、自治会に入っただけの様に市の方からPRをしていただきたい。

【回答】

今、いつ、どこで大きな災害が起こるか分からない状況にあります。万が一、そういった大規模災害が起こった際に対応できるように、今まで色々なところで出前講座等をやらせていただいております。

まず、自助として、自分たちで対応していただく、ただ、それだけだと当然、足りませんので、行政の方でという話ですが、なかなか行政の方も限界がございますので、自治会、地域の方々と常にコミュニケーションを取っていただき、人口減少、高齢化によって自治会の存続が危ぶまれているところもありますが、まずは普段のコミュニケーションを取っていただき、災害があった時にどこからどのように対応すべきか、それを地域としても話し合っただくこともよろしいかと私は思っております。勿論、行政は行政として当然、対応させていただきますが、限界はあります。

地域の普段のコミュニティがいかに重要であると思っておりますので、しっかり自治会につきましても機能していけるように、普段から心掛けていただければ有難いと思っております。

また、PRについても対応させていただきます。